

三重県のNPOを応援する情報誌 **リーダ-**

READER

2015

9

2015年8月25日発行
通巻201号

専門性を

活かす

仕事 → NPO



仕事で培ったスキル、経験を活かして

はじめまして プロボノです

「プロボノ」という言葉を聞いたことがありますか？プロボノとは、「専門的なスキルや経験を生かした社会貢献活動」のことをいいます。まだ三重県ではあまり浸透していませんが、例えば弁護士や会計士が団体に助言を行ったり、美容師さんが介護施設に通われている方を散髪したり等々。今回は、まだレアで先進的なプロボノ活動を行っている方をご紹介します！



松原 豊さん (48)

1967年三重県生まれ。東京写真専門学校名古屋校（現名古屋ビジュアルアーツ）を卒業後、写真撮影アシスタントなどを経て「写真家」として独立。雑誌や企業広報誌の写真撮影、母校で非常勤講師を務めるかわら、村を撮影記憶することをライフワークとしている。2011年に「村の記憶」発行（完売）、2012年には「みえの文化びと」に登録、三重県津市文化奨励賞を受賞している。「人との出会い」をきっかけにNPOが主催するイベントの写真撮影や、東日本大震災で甚大な被害にあった、岩手県大槌町の人びとの生活、地域の移り変わりを記録・発信するなど、プロボノとして活動をしている。



☑ お仕事は何をされていますか？

写真家をしています。小学校5年生の時にたまたま写真が製作される現場を見たのがきっかけで、現像の過程とかがすごく不思議で面白かったことから写真の世界に入りました。そこからずっと写真一本です。今は名古屋ビジュアルアーツ専門学校で非常勤講師をしながら、雑誌や企業広報誌の撮影や写真講座ワークショップの講師をしたりしています。

☑ 「写真家」という仕事を活かしてどのようなボランティアをされていますか？

私の場合、団体の中に入って一緒にやっているものと、そうじゃないものがあります。前者では、NPO法人サルシカさん、NPO法人パフォーミングアーツネットワークみえさん（以下「PAN みえ」と略）のイベントの写真撮影やパンフレットの写真撮影をしたりしています。写真ってただ単に綺麗に撮れば良いものではないので、例えばイベントだったらその時の楽しさとか臨場感とかが伝わるようなものでないと意味がないし、それは長い間写真を撮り続けてきたからこそ分かることかなと思います。後者は2つあって、たまたま近所のIT達人に出会って、たまたま私が写真家だったために活動に誘われて、いつの間にか「IT×写真」というテーマで地域のコミュニティづくりをしているということが1つ。もう1つが、半年に1回東日本大震災で被害にあった大槌町を訪問し、そこに住む人とお話をしつつ、人の営みや地域を記録していることです。最初は明確にしたいことがあって行ったわけではなかったのですが、現地の人と話をし、もう明日閉鎖されるという避難所最後の人に出会って、「今の姿を記録する」という形が生まれました。

☑ プロボノ活動を始めたきっかけは何ですか？

たまたま、です（笑）サルシカさんにしろ、PAN みえさんにしろ、IT達人、大槌町、全部たまたまなんです。サルシカさんは私とサルシカの隊長が「移住者同士だった」というたまたまからつながり、PAN みえさんはたまたま演劇を観に行ったことがきっかけでつながり、IT達人はたまたま「IT達人が経営するガソリンスタンドにカメラを助手席に置いたままガソリンを入れに行った」のがきっかけで、大槌町もたまたま震災直後足を骨折していてすぐに現地に行けなかったからこそ、避難所最後の人に出会えました。そこに、写真家という職業が加わって、活動が始まりました。

☑ 松原さんにとってボランティア活動とは？

正直「ボランティアをしている！」という感覚は全くなくて、気が付いたらそうになっていたみたいな感じ（笑）そもそも「誰かのために」「人助けをしたくて」と思ってやっているわけではなく、ただ単純に「楽しい」とか「伝えたい」という感情があって関わっているのだと思います。だからこそ続けられる部分もあると思います。あまり難しく考えすぎると、かえってできないことなのかもしれません。今後も形は変わるかもしれませんが、続けていけると良いと考えています。



志賀 大さん (27)

2011年に昭和大学保健医療学部看護科を卒業。
在学中から「ケアプロ株式会社」でワンコイン健診事業にボランティア参加し、現在はケアプロ株式会社 副部長、一般社団法人みんなの健康 代表理事を務めている。
看護師、保健師の資格をもつ。
東日本大震災時に、「一般社団法人 健診弱者を救う会（現・みんなの健康）」を設立し、東北地域のNPO団体と連携しながら、仮設住宅でのチャリティー健診を実施。さまざまなボランティア活動を行ってきた志賀さんは、三重県松阪市で、一般社団法人 i-oh-j! 代表理事である良雪 雅医師と一次救急専門クリニックの開設に向け取り組んでいる。



☑ プロボノ活動を始めたきっかけは何ですか？

東日本大震災がきっかけでした。自分自身東北出身ということもあり、居ても立ってもいられず、震災発生後すぐに看護師として健康支援を被災地で行うようになりました。その中で糖尿病などの慢性疾患の患者さんが検査を受けられず、疾患のコントロールが難しくなっている方がいることに気づき「（一社）健診弱者を救う会（現：みんなの健康）」という団体を立ち上げ、検査を無料で提供するチャリティー健診という活動を実施していきました。

良雪さんとはチャリティー健診の活動で絡みがあり、今回の件も相談を頂く機会がありました。

☑ 現在どのような活動をされていますか？

良雪さんは団体の顔です。松阪市におけるキーパーソンとの関係構築を行っています。一方で自分は良雪さんが作った関係から、取り組みを具体的に加速させる役割を担っていると思います。例えば、松阪市との関係構築は良雪さんが行い、自分は具体的に一緒に行うとしたらどのような方法があるのか提案実行を行っています。

また具体的に診療所を立ち上げるとなると単純に経営の話も出てきます。資金調達・マーケティング・資材調達・団体運営などをサポートしています。

☑ 活動を通じて得られたことはありますか？

行政と仕組みを作る経験ができたことは大きいと思っています。ステークホルダーもたくさんいるので、その中で全員が納得できるように立ち回っていく経験は今後も生きると思います。



☑ 志賀さんにとってボランティア活動とは？

儲かるか、制度に触れるかではなく、本当に社会に必要なかどうか、ここが自分の中ではボランティアをする時に重要視していることです。「ボランティアができる」ということは社会には必要だけども仕組化していない、ということだと思います。“ケアプロ”の活動も“みんなの健康”も基本的にはボランティアから始まり事業化していたりします。

自分にとってボランティア活動は「本当に社会に必要な活動は何か？」を探す活動でもあります。

プロボノ活動をはじめのきっかけはさまざまだと思いますが、この活動を通じて得られるものは多いのではないのでしょうか。社会貢献、個人のスキルアップ、豊かな人間関係の構築…。

企業だけでなく、NPOにとっても専門の知識や経験を持った人たちはとても貴重な存在。

自分のスキルや経験を活かしたボランティア活動を試してみる！という考えを是非取り入れてほしいと思います。

三重ぐるり

MIEGURURI

「三重ぐるり」では、毎月テーマを設け、そのテーマに沿った三重県内の市民活動団体を紹介しています。今月のテーマは【プロボノ】。ボランティアの相談、コーディネートを行っている団体を県内の市民活動センターから紹介していただきました。

情報提供：四日市市なやプラザ

公益財団法人ささえあいのまち創造基金（人財ポケット）

〒512-8512 四日市市萱生町 1200 四日市大学 9401 ☎059-363-3539 ✉ssk21ww@yahoo.co.jp



人財ポケットのマスクット「ポケよん」もイラストレーターのプロボノです

「ささえあいのまち創造基金」は、市民が市民を「お金」「もの」「人」で支えるしくみですが、このうち「人」の部分で「人財ポケット」といいます。事業所が多い四日市にあって、現役時代に培った知識・スキル・経験を、退職後は地域のために生かしていただくことが目的です。「プロボノ」は、職業上持っている知識・スキル等を活かして社会貢献するボランティア活動のことですから、「人財ポケット」は、「プロボノ退職者版」ということができるでしょう。

2007年から今日まで、さまざまなマッチングをしてきました。経理一筋だった人にNPOの会計を、IT専門だった人に地域団体の魅力的なホームページ作成を、大学教授には専門性を生かした学習会の講師を、元中学校教員には学習障害があるお子さんの指導などをしていただいています。最近では「専門性」の幅を広げ、「NPO」「自治会」「主婦」などの知識・スキルを生かせるよう、しくみを拡大しています。



人財ポケット登録者の交流会

ホームページをご参照ください。アピタ4階ララスクエアでも相談所を開設しています。

四日市市民が「自分でできること」で助け合うシステムです。今年度から運営団体の仲間を広げ、主婦の方々の専門性を生かせるようになりました。ホームページも8月にリニューアルし、使いやすくなりました。

情報提供：市民ネットワークすずかのぶどう

特定非営利活動法人 市民ネットワークすずかのぶどう

〒510-0241 三重県鈴鹿市白子駅前 9-20 ☎059-387-0767 ✉budou@mecha.ne.jp



交流会は、毎回 さまざまなテーマで盛り上がります！

NPO 活動の啓発の一環として、毎月「すずかのぶどう 交流会」を開催しております。ボランティアや市民活動をしている人、ボランティア・市民活動に参加し始めたばかりの人や、関心のある人たちを対象に、参加される方が主導的に考え伝え合う事ができるように毎回、テーマを設けております。今後プロボノでの参加者も募り、鈴鹿市の活動団体同士の繋がりを強め、新しい協働事業や参加者の知識・スキルの向上に繋げていけるような交流会にしていきたいと思っております。

その他、鈴鹿市の市民団体の活動内容などを見て頂けるサイト「すずか市民活動情報広場」の管理運営、事務所隣の「B-チャレンジ」ではパソコン講習や、団体支援の場として、さまざまな手芸教室・イベントも行っております。

お気軽にお問合せ下さい！

毎月交流会への参加者を募集しております！詳しくはサイト「すずか市民活動情報広場」をご覧ください。今後も鈴鹿市の市民活動を盛り上げていけるような活動に努めていこうと思います。

特定非営利活動法人津市 NPO サポートセンター

情報提供：津市市民活動センター

〒514-0027 津市大門 7-15 津センターパレス 3 階津市市民活動センター内 ☎059-213-7200 ✉tsusimin@zvtv.ne.jp



インターンシップの受け入れで「うどんをつくって食べる」イベントを開催

実際に NPO の中に入り、一緒に動いてもらうことが、NPO を知っていただくことへの第一歩であり、地道に NPO 以外の方と並走して活動することが NPO を知ってもらうことの近道になると感じています。そこで、私たちは、主催イベントでボランティアを受け入れたり、インターンシップの導入をしたりしています。例えば、毎年開催している小学生までの子どもとその保護者を対象とした「ハロウィンイベント」では、参加者が 300 名を超えるため、私たちだけでは対応できません。しかし、ボランティアのみなさんが一緒にイベントをつくり上げていただくことで成功しています。

インターンシップは、主に三重大学の学生を受け入れています。弊センター以外の NPO 法人の方から話を伺う機会を設けたり、学生自身で地域の人々を対象としたイベントを企画・実施したりしています。地域の人を対象としたイベントを一緒につくすることで、地域とは何か、どうしてイベントを開催するのか、について自然に考えていただくことができます。

イベントへの参加は随時募集します。詳細は HP などでご確認ください。

ハロウィンのボランティアに来ていただける方は多くは、津市内の方です。また、インターンシップで学生自身が考えイベントを企画することで、NPO が伝えたいことを感じ取っていただけると考えています。

松阪市ボランティアセンター

情報提供：松阪市市民活動センター

〒515-0073 松阪市殿町1360-16 ☎0598-23-2941 ✉borasen@matsusakawel.com



スタッフの藪さん、中西さん、浅沼さん
(左から)

ボランティア活動についてどなたでもお気軽にご相談ください。センターでは個人でも気軽にボランティアに取り組める仕組みとして、アルミ缶、プルタブ、古切手の回収を行っています。集まったら松阪の地域福祉などに役立てられます。詳しくはホームページをご覧ください。
<http://matsusakawel.com/>

松阪市福祉会館の1階にある「松阪市ボランティアセンター」。現在、93団体が登録し、1649人の会員が活動しています。このセンターの大きな役割は、ボランティアにまつわるニーズの相談・援助・支援等のコーディネート業務です。個人で始めたい人へ活動の紹介をするほか、学校や福祉施設等が行事のボランティアを募りたいときに当センターを通じて登録団体や高校生・大学生等に呼びかけを行います。

ニーズに応える一方で、ボランティアに興味を持ち、始めるきっかけづくりにも力を入れています。毎年、市民向けの研修や教室を定期的に開催。過去には手話や点訳の講座を行い、その受講生が新たなグループを作り、活動を続けている例もあります。また夏休みには小学生対象にボランティアや福祉について楽しみながら学べる「サマーボランティアスクール」を実施。皇學館大学生が企画し、当センターの登録団体が協力して、ボランティア活動体験やゲームを通じて福祉を学ぶ体験を行っています。

当センターに登録しているグループは、連絡協議会をつくり、横のつながりづくりにも力を入れています。各団体の特技や特長を活かして交流するサロン等も積極的に開催しています。

情報提供：いせ市民活動センター

いせ市民活動センター（特定非営利活動法人いせコンビニネット）

〒516-0037 伊勢市岩渕1丁目2-29 ☎0596-20-4385 ✉skc@e-ise.net



団体のボランティア募集など情報発信の撮影風景です。

いせ市民活動センターでは、地域市民活動団体が実施するさまざまなイベントでボランティア募集のお手伝いも行っています。特に中心となるのは、広報活動などで、機関紙であるパルティ通信に掲載して団体に郵送したり、地域にある施設、店舗、企業等の設置場所に置かせてもらったりすることで、より多くの方に知ってもらえるようにしています。また、地元ケーブルテレビのiTVなどでも地域で活動している団体のボランティア募集などの番組づくりをしています。FacebookやTwitter、通常のホームページなどでも広報をすることができます。

プロボノについては、特にプロの方限定の募集やマッチングプログラムはありませんが、「いせ市民活動センターなんでも相談」などを通じて企業経営者の方に市民活動団体にさまざまな形で協力してもらったり、マッチングをしたりすることもできる場合もありますので、ご相談いただけたらと思っています。

まずはお気軽にお電話ください！

いせ市民活動センターの指定管理者として地域の市民活動団体がより活動しやすい環境をつくったり、相談に乗ったりして、地域の間支援活動を行っています。

東紀州コミュニティデザイン

情報提供：東紀州コミュニティデザイン

〒519-3606 三重県尾鷲市北浦町1-8 キタガワノホトリ内 ☎0597-22-5554 / 080-2627-2080 ✉info@hcd.mie.jp



ゴミナビゲートボランティアの様子

事務局へお電話いただくか、キタガワノホトリまでお越しいただければスタッフが対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

仲間が集まればできることも広がる、東紀州コミュニティデザインではそんな仲間づくりをお手伝いしています。自治体の壁を越えた多様な繋がり、熱い気持ちを実現していきましょう。

募集のご案内

ボランティアカフェ ～LET'S コラボ～

市内で開催されている多岐にわたるボランティア活動。何となく聞いたことはあっても、具体的なことは意外に知らなかったり…。みんなでお話をしながら手をつなぐ(コラボの)機会を創ります。

ボランティア活動者の生の声を聞くチャンスです。ボランティア活動に興味のある人は、ぜひこの機会にお越しください。

日時 2015年9月12日(土) 13:00～15:00

場所 四日市市文化会館 第3ホール

対象 ボランティアに関心のある人なら誰でも(無料・申込不要)

問合せ先 四日市市社会福祉協議会 ボランティアセンター
TEL: 059-354-8144 FAX: 059-354-6486

メール y-vc@m3.cty-net.ne.jp

HP <http://yokkaichi-shakyo.or.jp/home/02/>

ユニバーサル就労センター設立記念講演会

社会的孤立と困窮を生まない地域づくり

事例発表

- ・若者自立支援と中間的就労の現場から
- ・困難を抱える当事者からのメッセージ

記念講演

社会的孤立と困窮を生まない地域づくり～生活困窮者自立支援法の施行を契機に～

講師: 宮本太郎先生【中央大学法学部教授/一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表】

就労環境がきびしさを増す中、うつ、ひきこもりなど、さまざまな働きにくさを抱える人やそれに伴う貧困問題が増加しており、生活困窮者自立支援法が2015年4月施行されました。

2015年9月、市民社会研究所は「ユニバーサル就労センター」を立ち上げます。これを記念して、「働くこと」を中心に、ささえあう社会づくりについて共に考えます。

日時 2015年9月13日(日) 13:30～16:00

場所 四日市大学 9201教室(定員200名・無料・申込不要)

主催 NPO法人市民社会研究所
NPO法人ユニバーサル就労センター

問合せ先 NPO法人市民社会研究所
TEL: 059-363-3539

メール ssk21ww@yahoo.co.jp

何を怖れる フェミニズムを生きた女たち 上映会&トーク

何を怖れる フェミニズムを生きた女たち(松井久子監督がフェミニストたちの証言でつづる初のドキュメンタリー映画)

15:30 開会 プレトーク

16:00 上映

18:20 アフタートーク 上野千鶴子さん

【社会学者・立命館大学特別招聘教授・東京大学名誉教授/認定NPO法人ウイメンズアクション

ネットワーク(WAN)理事長】

日時 2015年9月19日(土) 15:30開会

場所 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」多目的ホール

入場料金 前売 1,200円(一般) 500円(学生)
当日 1,500円(一般) 500円(学生)

申込 お申込みは、FAXかEメールでお願いします
※託児など詳細はお問合せください

主催 「何を怖れる」をフレンテみえで上映したい実行委員会

共催 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」

問合せ先 永戸 TEL: 090-9190-1630 nagato-f@mecha.ne.jp
土屋 TEL: 090-5113-2432 kunie_tsuchiya@mbr.nifty.com
佐藤 TEL: 090-3255-4985 mie-her09@jewel.ocn.ne.jp

10月6日マイナンバーセミナー

専門家がマイナンバーに関して、やるべきことを説明します。

13:30～「マイナンバーと税の関係」

14:30～「中小企業のマイナンバー対応策の例」

15:30～「マイナンバー事業者向けガイドラインへの対応方法」

16:30～個別相談会

詳細はホームページを参照ください。

日時 2015年10月6日(火) 13:30～17:00

場所 アスト津 4階 会議室1

参加費用 税込3,000円(様式DVD付)

お申込みはNPO法人ITC三重ホームページあるいはメールアドレス等へ

主催 NPO法人ITC三重

後援 NPO法人ITコーディネータ協会

問合せ先 申込先: NPO法人ITC三重
TEL: 090-3481-4868 FAX: 0598-23-3011

メール itcmie@banana01.com

HP <http://www.itc-mie.org/dt/070/>

「イベント企画講座<初級編>」に

関わっていただけるボランティアの方を募集しています!

12月27日(日)に開催予定の「イベント企画講座<初級編>～これから新たにイベントを始めたい方に～」を一緒に盛り上げていただける方を募集しています。ボランティアの内容は、当日のお手伝いから、これから一緒に内容を定める等さまざまあります。詳しくはお問い合わせください。今後、月に数回程度、実行委員会形式の会議を行っていきます。あなたの参加をお待ちしています。

日時 要相談

場所 下記のいずれか

・津市市民活動センター(津センターパレス3階)

・みえ県民交流センター(アスト津3階)

問合せ先 NPO法人三重ドリームクラブ 加藤
TEL: 059-271-9978 FAX: 059-255-2257

メール qzo1341004@yahoo.co.jp

あなたの組織にあった資金調達方法を 探しませんか？

9月～10月にかけて、みえ市民活動ボランティアセンターでは「NPOグレードアップセミナー NPOの資金調達を考える 秋の陣」を開催いたします。
本セミナーでは、「クラウドファンディング・助成金・融資」の3点からその組織にあった資金調達の手段や方法を見直すといった内容となっております。

(A) ～クラウドファンディングで地域、組織を盛り上げる！～

日 時 2015年9月12日(土)
13:30～15:30

講 師 株式会社NFL 代表取締役 川辺 友之さん

(B) ～リアル助成金講座 2015年版～

日 時 2015年9月26日(土)
13:30～16:30

講 師 特定非営利活動法人CANPANセンター
代表理事 山田 泰久さん

(C) ～融資を通じて、人と地域をつなげ、持続可能な組織にする～

日 時 2015年10月17日(土)
10:00～12:00

講 師 コミュニティ・ユース・バンク momo
代表理事 木村 真樹さん

場 所 みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700番地 アスト津3階)

定 員 A～Cとも各30名(先着順)

受講料 A～Cのいずれか1つを受講…1,500円
A～Cのいずれか2つを受講…2,500円
3つ全てを受講…3,000円

NPOのみなさん。お悩みありませんか？ 専門相談会開催！

みえ市民活動ボランティアセンターでは、窓口やメール、電話などで常時、NPOに関する相談を承っております。このたび、その相談業務をさらに強化するため「NPOのための専門相談」の日を設けることとなりました。平成27年度は、弊センターの指定管理者である「NPO法人 みえNPOネットワークセンター」の理事が、月替わりで相談員として対応させていただきます。セミナーのような1対多ではなく、1対1の相談会となりますので、相談者の方がお聞きになりたい話が聞ける機会となっております。是非お問い合わせください。

次 回 9月28日(月)

テ マ 内部情報の共有・スタッフのモチベーションの保ち方

東海ろうきん 「子どもの未来応援寄付金」寄付先募集！

東海ろうきんと特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンターが協働し、三重県内の「子どもの健全育成」に取り組む市民活動団体・NPO等の事業実施の一助となるよう、寄付を行う運びとなりました。県内で活動する市民活動・NPO等のみなさまからのご応募をお待ちしております。

寄付金額 10万円×2団体 計20万円

対 象 三重県内にて、子どもの健全育成の分野で活動している市民活動団体・NPO等団体(法人格の有無は問わない)。

寄付の対象となる活動

子どもの健全育成の分野での、非営利で公益的な活動であれば、実施形態や使用内容は問いません。

寄付の対象となる活動の期間

2016年1月1日(金)～7月30日(土)までに実施する何らかの事業や活動

応募期間 2015年9月1日(火)9:00～

2015年9月30日(水)22:00 必着

※応募方法等の詳細は、みえNPOネットワークセンターHPをご覧ください。

みえぎんNPOローン 特設取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高1,000万円まで無担保でご融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(審査部)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重県の新名物

伊勢おやき本舗

年齢、国籍、性別、障害の有無にかかわらず
ともに働き、ともに成長する「ユニバーサル就労」の店



イベント出店、ご当地おやきの開発など、各種御相談に応じます。

四日市市諏訪栄町3-4 TEL/FAX 059-355-5115 ssk21ww@yahoo.co.jp

助成金情報

助成金情報はみえ市民活動ボランティアセンターホームページでも多数ご紹介しております

① 締め切り・募集期間 ② 対象 ③ 助成金額／表彰内容

かめのり財団「第9回かめのり賞」募集

- ① 9月11日(金) 必着 ② 国際交流にかかわる活動を行うNPO法人・グループ・個人
- ③ 橋と副賞50万円の活動奨励金(10件まで)

大和証券福祉財団 平成27年度(第22回)ボランティア活動等助成

- ① 9月15日(火) 当日消印有効 ② 高齢者、障がい児者、児童問題等の活動に取り組む団体・グループ
- ③ 1件の上限30万円(総額3,500万円) ※「ボランティア活動等に関する調査研究助成」も同時募集中

読売光と愛の事業団 生き生きチャレンジ2015 福祉作業所「アート」助成事業

- ① 9月25日(金) 当日消印有効
- ② 創作活動を生かしてアート作品等の製作や関連商品の開発・販売に取り組む福祉作業所
- ③ 1事業所の上限100万円(総額1,000万円)

サントリー世界愛鳥基金 平成28年度「地域愛鳥活動助成部門」

- ① 9月30日(水) 当日消印有効 ② 地域に根ざした鳥類保護活動に取り組む学校・自治会・ボランティア団体等
- ③ 1件の上限20万円(総額200万円)

倫理研究所「第19回地球倫理推進賞」公募

- ① 9月30日(水) 当日消印有効
- ② 国内外において環境・教育・文化・医療などの分野で地球倫理の推進に貢献している団体・個人
- ③ 橋と副賞100万円

前川報恩会 平成27年度福祉助成(団体)

- ① 9月30日(水) 必着
- ② 心身に障がいのある方々を援護する施設を運営する非営利団体
- ③ 1件の上限20万円～30万円 ※「地域振興助成」も同時募集中

トヨタ財団 国内助成プログラム

- ① 9月30日(水) 15時必着
- ② 若い世代とともに地域に開かれた仕事づくりや仕事の担い手となる人材を育てる事業に取り組む団体
- ③ 総額1億円(実施内容と申請額に基づき決定)

スタッフルーム

みなさま、はじめまして。6月よりみえ市民活動ボランティアセンターのスタッフとなりました中林です。学生時代にボランティア活動に関わった事がありますが、NPOに関しては初心者で聞きなれない言葉がたくさんあります。今月号のテーマ「プロボノ」も初めて聞いた言葉で、すぐさまネット検索しました。第一印象は、何だかカッコいい!自分のスキルが仕事以外の場で誰かの役に立つって、とても新鮮で誇らしい気持ちになると思うのです。相乗効果で仕事の能率も上がれば一石二鳥ですね!さまざまなプロたちにこの活動が広がって、NPOの活動が豊かになればいいなと思います。

(中林)

特定非営利活動法人

(2015年7月10日～2015年8月9日認証分)

①法人名②主たる事務所の所在地③活動分野
④認証年月日⑤代表者

- ①NPO法人 ヴェリタス
- ②いなべ市大安町丹生川下1152番地2
- ③保健、社会教育、まちづくり、子ども、職業能力
- ④2015年7月16日
- ⑤理事長 服部 邦夫

- ①特定非営利活動法人 高所トレーニング環境システム研究会
- ②津市島崎町137番地124
- ③I.L.SHIMAZAKI 401号室
- ④保健、学術、国際、子ども、その他
- ⑤2005年3月10日
- (注)2015/7/23 東京都より転入
- ⑥理事 杉田 正明

- ①特定非営利活動法人 すみれ学童クラブ
- ②伊勢市常磐3丁目10番44号
- ③子ども
- ④2015年7月16日
- ⑤理事長 吉田 美智代



転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者：みえNPOネットワークセンター」に連絡してください。

READERはここにあります。

【地域の市民活動センター等】(津市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市なやプラザ/四日市大学 (亀山市)亀山市市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのびどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (志摩市)阿児アリーナ/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

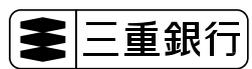
【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JAバンク各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(地域防災総合事務所(桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀) 地域活性化局(南勢志摩、紀北、紀南)/三重県栄町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/MieMu(三重県総合博物館)/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。



環境にやさしい植物油インキを使用しています。